だんたいしょうかい
# 団体紹介

CATEGORY
## 災害・犯罪等からの安全・安心



## 一般財団法人京都府民総合交流事業団　京都府男女共同参画センター

目次

- 性別に関係なく個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を目指して
- 男女共同参画の視点からの避難所づくり。日頃から備えを
- 避難所設営体験！女性の視点から見る避難所づくり
- 誰もが安心して過ごせる避難所
- 災害時の心強い相談役。「女性相談サポーター」

### 性別に関係なく個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会を目指して

京都府男女共同参画センターは、平成16年4月に施行された「京都府男女共同参画推進条例」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けて情報の発信、学習、交流を推進する拠点施設として、様々な事業を行っています。

女性の起業や再就職支援、また、地域における女性の支援など、女性活躍に向けた各種事業をはじめ、女性が抱えている悩みや様々な問題に対する総合的な相談体制を整えて、一人ひとりに寄り添った丁寧な事業の推進に取り組んでいます。

また、各地域における防災施策に男女共同参画の視点を浸透させるため、「災害時女性相談サポーター養成講座」やそのフォローアップ、さらには「避難所設営体験講座」も行っています。

### 男女共同参画の視点からの避難所づくり。日頃から備えを

いつどこで起こるかも分からない自然災害のために、日頃から備える必要があります。

男性に比べて女性の方が避難所生活で不便を感じる場面が多くあります。また、性別だけでなく、子育て中、高齢者、障がい者、単身者など、対象者によって異なる必要な支援と配慮を考える必要性など、避難所設営体験講座を通して学習の機会を提供しています。

熊本地震などの災害時に、男女共同参画の視点が欠落しており、住民の生活に大きな支障が生じました。男女別のトイレ、更衣室や洗濯物干し場が設置できない、授乳室、幼児や子どもが遊ぶための専用スペースが設置できないなど、災害時においても性別に応じたニーズの違いに配慮する視点も必要です。

### 避難所設営体験！女性の視点から見る避難所づくり

「女性の視点から見る避難所づくり」講座での避難所設営体験で、参加者からは、「簡易トイレ、段ボールベッドの体験が出来てよかった。」、「身近な物を利用して、工夫次第でいろいろ出来るのがよかった。」、「簡易トイレは短期だと我慢できるが長期間はストレスが溜まりそう。」、「近所付き合いを大事にしていきたい。」等、気づきの声が上がりました。

### 誰もが安心して過ごせる避難所

各地区にある公民館などが避難所となる場合が多く、災害時に公民館が避難所として機能するためには、事前に収容人数、館内のレイアウトを決め、いつでも対応できる備えが必要です。講座では、公民館の図面を使った避難所シミュレーションを行い、参加者が避難してくる住民に最適な配置となるよう、安心できる地域づくりを考えてもらえる講座としています。また、避難所での備蓄品でもある防災食の試食体験も行っています。

### 災害時の心強い相談役。「女性相談サポーター」

被災時において、女性ならではの不安や困難を抱えた女性からの相談に傾聴し、情報提供や専門相談へつなぐ活動をする「災害時女性相談サポーター養成講座」を実施しています。

避難所設営体験講座、避難所シミュレーション等、出張講座を実施しています。

京都府男女共同参画センターでは、災害時においても、男性や女性、また全ての人が支障なく過ごせる避難所づくりを目指しています。

一般財団法人京都府民総合交流事業団
京都府男女共同参画センター
公式サイト →

← 公益社団法人 京都府宅地建物取引業協会
京都宅建は、不動産無料相談と空き家の利活用対策を通じて、...

京都府更生保護女性連盟 →
「更生」＝「甦る」　再出発する人を導き、助け、再犯・孤立を...





Copyright © きょうと地域創生府民会議 All rights reserved.